

南海トラフ巨大地震の災害軽減

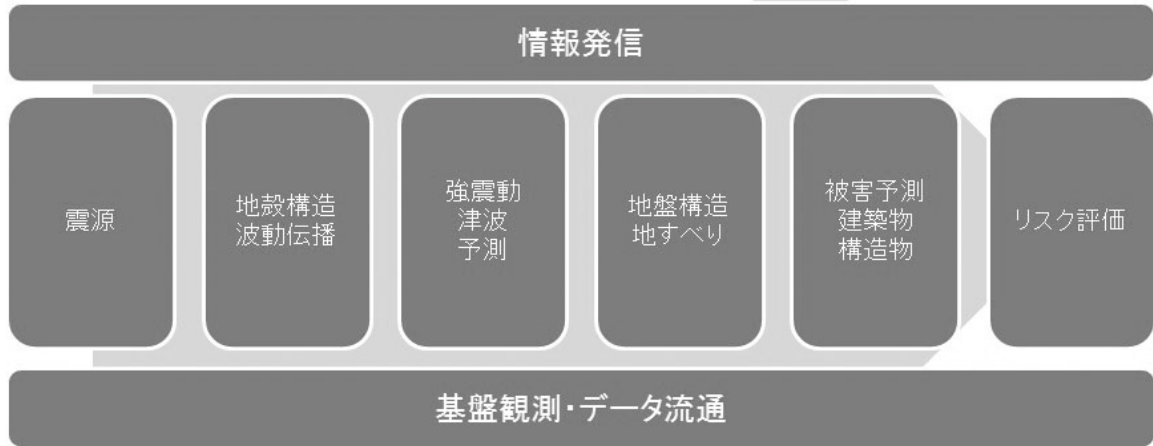


図1. 南海トラフ巨大地震の災害軽減に資する研究のスキーム

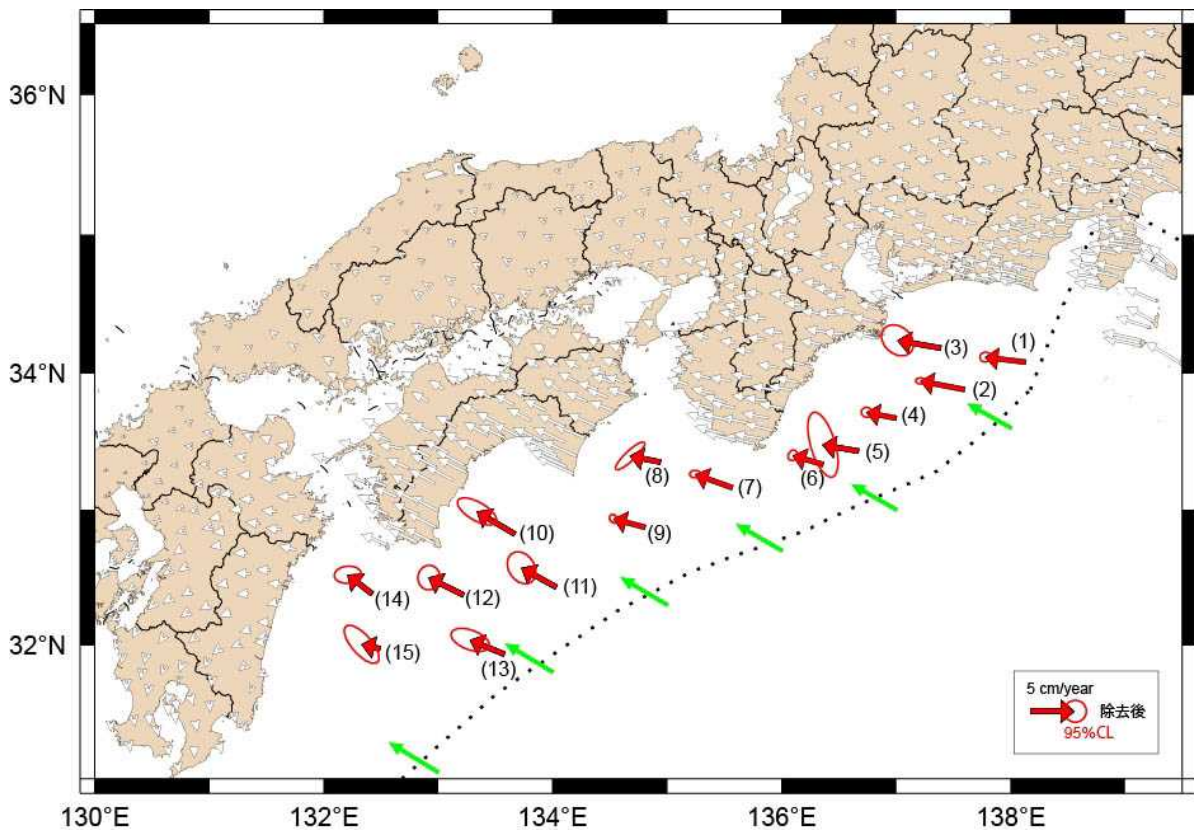


図2. 西南日本の年平均変位（海上保安庁〔課題番号：8001〕）

赤の矢印は東北地方太平洋沖地震の影響を補正した海底基準点の移動速度，白の矢印は東北地方太平洋沖地震前における国土地理院の電子基準点の移動速度，緑の矢印はフィリピン海プレートのアムールプレートへ

の沈み込み速度を示す。楕円は95%信頼区間を示す。

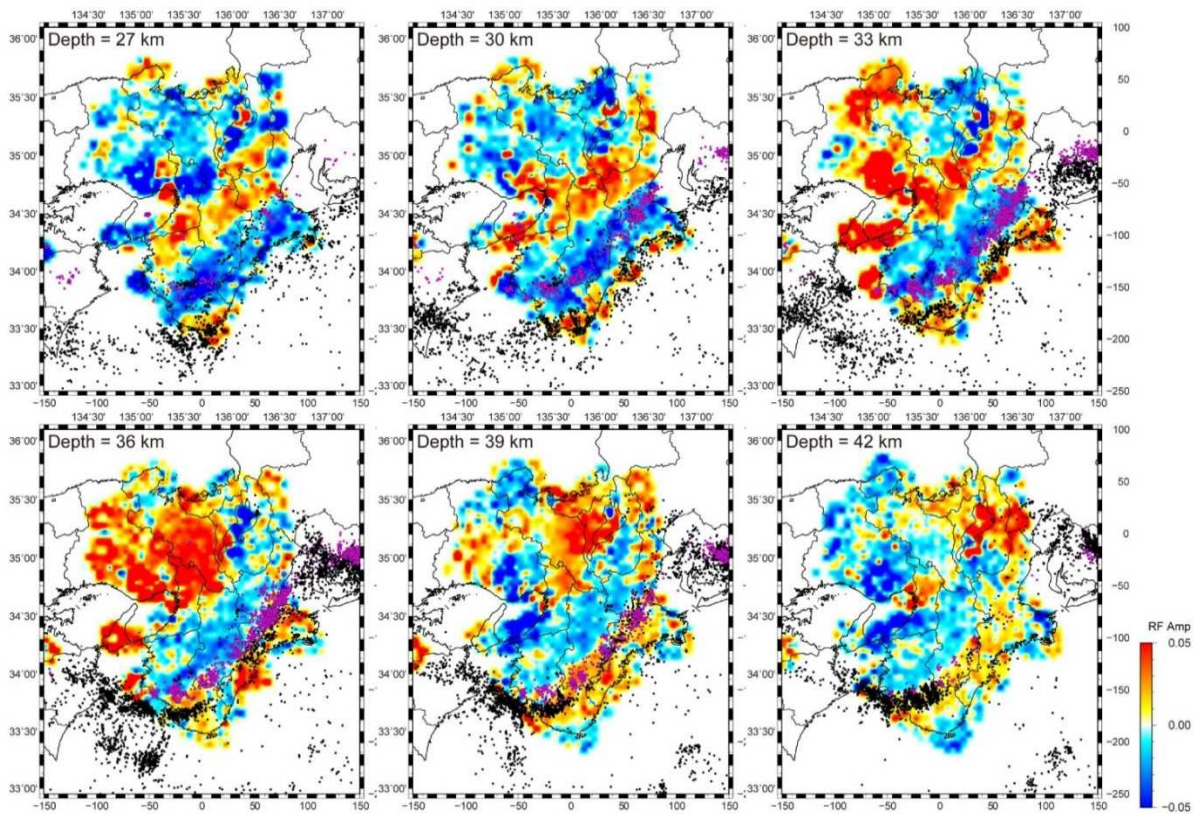


図3. 近畿地方におけるレーザー関数イメージ (京都大学防災研究所 [課題番号: 1904])

上段左から深さ27 km, 30 km, 33 km, 下段左から深さ36 km, 39 km, 42 kmでの重合されたレーザー関数の振幅を示す。赤色は正の振幅で高速度層の上面, 青色は負の振幅で低速度層の上面を表す。紫の丸は深部低周波地震, 黒の丸は通常の地震を示す。いずれも気象庁のカタログによる。